

令和6年度

決算審査要望書

1

持続可能な財政運営の推進



本市の財政構造の弾力性を示す指標である令和6年度の経常収支比率は、91.1%と前年度より改善された。また、直近では、インフレの影響により、税収入は拡大傾向が続いているものの、長期的な社会情勢を鑑みれば、少子高齢化に伴う人口減少により、今後の税収入の減は避けられない。

そのため、ふるさと納税の増収策の検討及び遊休公有財産の戦略的な活用をより一層推進し、自主財源の確保に努められたい。また、歳出については、業務に必要な人員を適正に配置しつつ、将来を見据えた上で事業の選択と集中を図るとともに、各補助金及び交付金については、費用対効果の検証を行い、適正な運用に努められたい。

2

防災力の強化と万全な消防・救急体制の確立



近年の激甚化・頻発化している災害に対応するため、トイレトレーラーやドローンの活用研究、指定避難所の耐震化や空調設備の設置及び備蓄品の適正な確保など、防災インフラの計画的な整備を推進し、防災力の強化を図られたい。また、迅速な被災者救援を実現すべく、資機材の充実と職員の適正配置に努め、万全な消防・救急体制の確立に取り組むとともに、災害時の要となる消防団についても、深刻化する団員不足の解消と組織再編を進め、実践的な災害対応能力の向上を推進されたい。

3

福祉サービスの充実



誰もが安心して暮らせる共生社会を目指す上で、福祉サービスの充実を図ることは重要である。本市においても、高齢者や障がいのある方に対する様々な支援事業を行っているが、これからさらに必要とされる福祉サービスの考え方は、相手側により寄り添った事業であると考える。

重度心身障がい者医療費は、窓口で一旦医療費を支払う償還払いとなっており、助成申請が煩雑であるという市民の声がある。実施している支援事業のさらなる周知に努められるとともに、本事業については、窓口負担が不要となる現物給付制度への検討を図られたい。

4

子どもたちを取り巻く環境の改善



子どもたちが心身ともに満たされ、豊かに生きていくこと(ウェルビーイング)を支えるには、保育の質を高める必要があり、そのためには環境や経験が大事であるとされている。本市においても、こどもまんなか社会を実現するため、市内公立保育園や民間保育施設の環境改善の支援のさらなる充実を図られたい。